

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月28日

事業所名 きらめきキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		個別訓練ができるように環境設定を行っています。	時間、活動内容、指導員の配置等を工夫して個別活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	7	1	職員の休みが重ならないように職員同士協力しています。	・職員の配置数は適切であるが、職員の急な休みで指導員が足りない場合は他事業所からの応援で対応し、支援へは差支えが無いようにしています。また、保護者の確認の元、送迎の協力を頂いています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		写真や絵カードを活用して視覚支援で環境設定を行っています。	活動の内容によって児童が集中しやすい環境設定を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		ホール、中庭が広く見守りがしやすい環境で支援を行っています。個別活動の環境設定も行っています。	活動に合わせてマットなどを活用する等していきます。また、児童が清潔に心地よく過ごせるよう清掃、室内環境を常に意識します。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	日々の申し送りや事業所会議にて改善点などを確認しています。	事業所会議や日々の申し送り帳などを活用して職員全体に周知と振り返りを行う事で業務改善をしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		貴重な意見を参考に改善に繋げています。	意見箱を設置や保護者からの意見を伺い速やかに対応できるようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		公開しています。	結果を踏まえ、事業所会議で業務改善に努めています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8		外部の第三者委員会は設けてません。	第三者による外部評価は行っていませんが他事業所、保護者からの意見を参考に改善しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	社内の研修、又は事業所での勉強会を行っています。	事業所会議で勉強会を開催します。また外部の勉強会にも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		保護者や関係機関と情報共有を心掛け必要な支援が行えるようにしています。	アセスメントをチームで共有し話し合い計画書を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	決められたアセスメントシートを活用している。	毎年アセスメントシートを更新していきます。また児童の成長に合わせたアセスメントを取っていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		適正に支援内容が設定されている。	必要な支援内容を盛り込んだ計画を立てている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		定期的にケース会議を行い支援の方向性を確認している。	今後も支援会議を行い、情報共有したうえで個別支援計画を作成実施していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		チームで話し合い五領域で活動プログラム立案を行っている。	児童の特性や発達段階に合わせて工夫して活動内容を充実させていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		児童が楽しんで参加できるように工夫している。	プログラムの曜日が固定にならないようにしていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		児童の特性や発達段階に合わせた活動内容で計画している。	集団活動が主なので個別活動の時間を工夫して入れていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		朝礼でその日の利用児の確認と活動内容、役割分担を確認しています。	出勤時間が朝礼に間に合わない職員は途中から参加か出勤してから申し送りノートを確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		終礼で行っています。	終礼に参加できなかった職員には申し送りノートで共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	毎日の記録を取り必要に応じて話し合い今後に向けて記録を取るようになっています。	課題がある時は話し合いをもとに支援方法を見直していく必要があります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		相談員とのモニタリング会議に合わせて事業所モニタリングを行っています。	保護者や関係機関と常に情報共有を行い児童の成長や変化に気づくことができるようにしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		参加しています。	児童発達支援管理責任者もしくは児発管研修を受けた職員が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		相談員を通して行っています。	相談員を通して関係機関と連携しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	1	該当なし	該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	1	該当なし	該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		他児の送迎時に次年度入園の児童を連れていき不安にならないように場所を知ってもらうなどの工夫をしています。	送迎時に先生方と情報共有を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	相談員を通して行っています。	移行先の小学校へ積極的に支援内容の情報共有をおこなっていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	外部研修に参加しています。	他の児発事業所との交流を行っていき情報交換をしていけるようにします。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8		地域の保育園と交流を行いました。	保育園の周りを散歩して児童に事前に説明を行い園庭で保育園の児童と交流をした。次年度は積極的に保育園、幼稚園等と交流するように計画するようにします。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8		業務時間内で児童の支援がある為参加できていません。	参加できるように努めていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		日々の様子はLINEで報告して、送迎時には口頭で伝えています。	今後は保護者と個人面談を積極的に行っていきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	8		市町村のペアレントトレーニングがあった時には保護者に情報共有をおこなっています。	現時点では、ペアレントトレーニングという形ではありませんが、必要に応じて適切な支援が出来るようにしていきます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に説明を行っています。	定期的に確認する必要があります。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」を提供しています。	児童発達ガイドラインの支援内容と計画に基づいてサービスを提供していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		普段の送迎時に保護者と会話をしているようにしています。	その場で対応出来なかった場合はチームで話し合い返答するようにしている。今後は保護者と個人面談を積極的に行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		保護者参加型のイベントを年に3回行っています。	保護者が参加しやすい時間帯などの工夫をします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		報連相を徹底しています。チームで確認し速やかに保護者対応を行っています。	保護者からの相談の対応がどの職員でも出来るように体制を整えていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		今月の活動内容と先月の活動の様子を写真で保護者へ毎月発行している。	今後も保護者に毎月発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		個人情報、重要書類は鍵付きの書庫に保管しています。	鍵の保管場所も慎重におこなっていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		写真や絵カードを活用して見通しを持ち安心できるように支援し保護者へ共有している。	事業所で使う絵カードなどを保護者へ提供し家庭でコミュニケーションツールとして役立てられるように配慮する必要があります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8	行事は家族の参加型で実施して地域の方の参加は行っていません。	秋祭りなどイベントに招待できるようにします。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		社内のマニュアルを元に訓練を行っています。	職員間で実施している訓練等を保護者へ周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に避難訓練を行っています。	次年度5月と10月に強化防災月間として訓練予定。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		契約時に健康状態の確認をしています。	児童の健康状態は常に保護者と共有していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		契約時にアレルギーの有無を確認しています。	厨房へアレルギー対応の申し送りを行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		事例集を作成し今後の対策を話し合っています。	職員全員がいつでも振り返り確認しやすくする為に保管場所を決めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		職員研修に組み込まれています。	どのような行動が虐待に繋がる恐れがあるのか定期的に話し合っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		保護者には契約時に説明を行い理解してもらっています。	どのような場合に行うのか説明を再度確認してもらいます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。